

校長室の窓から

【NO.12】

頑張る、秋!!

マラソン大会も全力で!

「校長先生、今日のマラソン大会、
○位になるよ!!」

朝、出会ったときから、マラソン大会への
意気込みを話してくれる子どもたちです。

春からずっと頑張ってきたマラソン。
いよいよその成果を発揮する時。

「みんな、自分の目標をしっかりとっている
んだな」



【自分のペースで、全力で】

全学年の様子を見させてもらいましたが、とても
真剣な子どもたちの顔に出会えました。

いつもは、すれ違いざまにハイタッチをしていっ
てくれるのに、この時ばかりは前だけをしっかりと見
ていつもの笑顔ではなく真剣そのもの!!



【他学年からも応援の声が】

一人一人が自分のペースで最後まであきらめず走る姿に思わず応援に
も力が入ります。

友の頑張りを、自分のことのように
応援する子どもたちの姿にも心が打た
れました。

たくさんのおうちの皆さんに応援し
ていただき本当にありがとうございました。

子どもたちもいつも以上に力をだせ
たマラソン大会だったと思います。

全力で頑張る姿ってステキですね。



【頑張った写真が中央廊下にかざられました】

「私とあなた」ではなく

「あなたと私」!!

～金子みすゞさんの世界から～

11月8日（木）から「なかよし旬間」です。

「なかよし旬間」と聞いて、すぐ思い浮かぶのが、今年9月に本校に来て、3・4年生にお話をしてくださった矢崎節夫先生からお聴きしたお話です。



【矢崎先生のお話を熱心に聴く】

矢崎節夫先生は、

「みんなちがって みんないい」

のフレーズで国語の教科書にも載っていて知っている人も多い金子みすゞさんを私たち世の中の人たちに出会わせてくれた先生です。

今は「金子みすゞ記念館」の館長さんをなさっている先生ですが、9月に本校にきて、お話をお聴きする機会に恵まれました。

みなさんは、「あなたと私」ですか？ 「私とあなた」ですか？
みすゞさんのまなざしは「私とあなた」ではなく「あなたと私」なんです。
ふつうの人は「私とあなた」になってしまうんじゃないですか。
「私」を先にしてしまうと、自分のことしか考えなくなるの。
でも、「あなたと私」は、自分と同じくらいどちらも大切なのです。
「私」が「私」であるためには、「あなた」がいるから「私」になれるのです。
『わたしと小鳥と鈴と』の詩も、最後は「鈴と、小鳥と、それからわたし」になっているでしょ。
鈴があるから、小鳥がいるから、「今の私」がいるのです。
「私」を後にすると、みんなが自ずと大事になってきます。
自分の位置を変えるだけで、見方が変わるのです。
こうしたまなざしで見たとき、初めて「みんなちがって みんないい」と言えるのです。

「私が…、私が…」ではなく、「あなた」のお陰で「今の私」がある、と思えること、すなわち「生かし生かされることの実感」を抱けることが、すべての基本かな思われます。

これが「なかよし」にも「人権教育」にも繋がるのではないのでしょうか。

明日16日（金）は、人権教育参観日です。授業参観はもちろん、講演会も学級懇談会もよろしくお願いいたします。

【文責：田中寿一】